



ウグシク(細城)とは、首里城のことです。元々は敬称ですが、首里では今でも親しみを込めてこの呼び方をしています。

首里城花まつり

今回で第三回目となる「首里城花まつり」が開催されます。海洋国家として繁栄した琉球王国。草花の造形物で表現した国王・王妃や首里城公園全体に設けられたフラワーアートがご覧頂けます。また、期間中は、琉球王朝「舞への誘い」特別公演や「クイズラリー」などのイベントが行われます。皆様のお越しをお待ちしております。



■日時：平成20年1月26日(土)～2月24日(日)
■場所：首里城公園 入場無料(正殿のある区域は有料)
■お問合せ先：首里城公園管理センター ☎098-886-2020
■URL <http://www.shurijo.com/>

鎖之間のご利用案内(有料)

鎖之間(さすのま)は、琉球王国時代の伝統菓子やお茶を味わうことができる、首里城では今までになかった体験施設です。建物の木材はチャージ(いぬまき)を使って復元をし、癒しの空間を満喫できます。



■利用時間：9時30分～18時
(ラストオーダー17時30分)
■料金：300円

首里城基金事業のお知らせ

先の大戦で国内外に散逸してしまった貴重な琉球文化遺産を収集・保存するため、当財団では県、市町村、各種団体、また多くの方々から「協力を得て、「首里城基金」を設立し、その事業内容の充実を図るべく、広く県内外に寄付を募っております。「首里城基金」の主旨をご理解いただき、皆様の温かいご協力、ご支援をいただきたく、お願い申し上げます。

首里城基金の受付
〒903-0815
沖縄県那覇市首里金城町1-2
(財) 海洋博覧会記念公園管理財団
首里城公園管理センター
■お振込みの場合■
沖縄銀行首里支店(普通) 1318639
琉球銀行首里支店(普通) 6-495
沖縄海邦銀行首里支店(普通) 0-482-155
口座名 首里城基金

常設展のご案内

琉球王国時代、首里城を中心にさまざまな文化がはぐくまれ、発展しました。その中でも美術工芸は、往時の確かな技術が今も多くの人の関心を引き付けています。今回は当公園収蔵品の中から、王国時代にかかわる美術工芸品の数々を展示します。王府の工房である貝摺奉行所(かいずりびぎょう)しよで製作したと思われる漆器をはじめ、王家や上流階級の人たちが着用したとされる衣裳、往時の那覇港の様子を描いた屏風の「那覇港図」等を展示します。

展示期間
平成二十年一月十五日～三月二十二日(予定)
展示場所
首里城公園南殿二階特別展示室(有料区域内)
展示資料

- ① 紬黄地ムルドウッチリ袷衣裳 (むぎきじむるどうちりあわせいしよ)
- ② 黒漆山水楼閣人物螺鈿硯屏 (くろうるしさんすいろうかくじんぶらでんけんびょう)
- ③ 花鳥図(孫徳)(かちようす) その他



Vol. 8 SHURIKAWARABAN 首里かわらばん

首里には、かつての王都として落ち着きあるたたずまいと歴史文化があると共に、たくさんの魅力ある首里人(すいんちゆ)がいます。この首里かわらばんでは、地域で活躍している人たちを紹介していきます。

特集 マージ 真和志今昔く人と文化に触れる

インタビュー
首里・真和志町
山城 良子さん



山城 良子さん

(記者) 高校進学のことかけを教えてください。(山城氏) 父親の急逝で師範学校附属小学校を中退した時から、ちゃんと学校へ通いたい、勉強がしたいという強い思いがいつも胸にありました。新聞で珊瑚舎スクール夜間中学校の存在を知り、平成十六年から三年間通って証書ももらい、去年やっと泊高校へ入学。七十七歳の私は最高齢で勉強も大変だったけれど、入学式の時の感動は今でも覚えています。校長先生の言葉には涙が出ました。(記者) 一番好きな科目は何ですか。(山城氏) 若い頃は米軍基地内で働いていたので昔から英語に興味があり、今も英語の授業が一番好きです。学校以外に、首里公民館の英会話サークルでも勉強しています。今年は頑張って英検にも挑戦したいと考えています。

(記者) 今後の目標と夢は何ですか。(山城氏) やりたい事がたくさんあって合唱や習字、ペン習字等も習っています。目標はまず高校を卒業すること。そして何事にも前向きに、元気に過していききたいと思っています。



山城さんが撮影した写真の数々

(記者) 趣味の写真についても聞かせてください。(山城氏) 昔のカメラは性能が良くなって、人物を写そうと思っても頭や体の一部分が切れたり、ぼやけたりして上手くいかない。それが悔しくて新報のカルチャーセンターに入会し、習い始めて二十年になります。昔は人物を撮っていたけれど、最近は風景が多いですね。五路会やうりずん(旧ヨニカミノルタ沖縄支部)に席を置き、時々グループ展にも出展しています。

賑やかだった真和志町

(記者) 真和志町のお話も聞かせてください。(山城氏) 私は儀保の出身で結婚後はずっと真和志に住んでいます。戦前は綾門の通りに大きなマチがあって、行商の人が集まる朝晩は特に賑やかでした。当時は真和志クラブの上の方に劇場もありました。小学四年生の時、母とケンカして夜から芝居を見に来た事があって、ちょうど与座兄弟の「孝行物語」をやっていた皮肉な思い出もあります。戦後は当時の面影はなくなりましたが、とても静かで住みやすい大好きな町です。

何事も前向きに

(記者) 今後の目標と夢は何ですか。(山城氏) やりたい事がたくさんあって合唱や習字、ペン習字等も習っています。目標はまず高校を卒業すること。そして何事にも前向きに、元気に過していききたいと思っています。

水のある風景

龍潭(真和志町)

池のほとりで弁財天堂をスケッチする小学生や、リラクセスした表情で遊歩道を散歩する人の姿。観光客で賑わう首里城とは違って、龍潭は休日でも静けさに満ちている水の風景です。

龍潭は一四二七年、尚巴志の命により国相懐機が造った人口の池。この付近に建てられていた沖縄最古の碑文によると「万人が利用できるよう太平の世のシンボルとした」と記録されており、琉球随一の名勝として庶民にも親しまれていたことがわかります。別名を「魚小堀」「ユグムイ」といい、首里城や円覚寺から流れる湧水雨水が円鑑池を満たしてこの池へ注ぎ、澄んだ水の中にたくさんの魚が泳ぎ、周囲は色とりどりの花や木で彩られていました。重陽の節句(旧暦九月九日)には中国の使者・冊封使を歓待する宴が開かれ、鑑賞船から水面に映る首里城の姿を楽しんだり、爬竜船競漕を行なうなど、優雅なもてなしの舞台がありました。初夏は風にそよぐ鯉のぼり。秋は琉球王朝祭りのクライマックスに打ち上げられる花火...昔も今も首里の行事に欠かせない存在として、龍潭は水面に首里城の姿を静かに映し続けています。



龍潭(真和志町)

首里かわらばん 第8号
2008年1月発行
編集
首里かわらばん編集会議
発行/事務局
NPO法人 首里まちづくり研究会
〒903-0812
那覇市首里当蔵町2-13
TEL 098-886-8615 FAX 098-886-1569
<http://happy.ap.teacup.com/suimachi/>
協力
78 タイフーン fm (周波数 78.0 MHz)
〒903-0824
那覇市首里池端町34 2F
TEL 050-3539-1178 FAX 098-882-2400
<http://www.fmnaha.jp/>
タイトルデザイン 石原左内

編集後記
首里かわらばんは、第8号よりNPO法人首里まちづくり研究会が発行を担当することになりました。地域に根付いた情報紙として、首里の歴史や文化を楽しみながら、身近にあるまちの魅力や地域活動を広くお伝えすることを目指しています。どうぞよろしく願います。首里地域の皆さまのホットな情報提供をお待ちしております。

バックナンバーのお知らせ
■首里かわらばんのバックナンバーがホームページでご覧になれます。
首里地域情報ポータルサイト「e 首里ドットコム」
URL <http://www.e-sui.com/>

■お問合せ 事務局 TEL 886-8615

■1号 石畳のまち首里金城町 ■2号 城下町のメインストリート龍潭通り
■3号 首里の旗頭 ■4号 首里の伝統菓子 ■5号 首里三箇のまちづくり
■6号 儀保駅周辺エリア ■7号 琉球の宮廷音楽